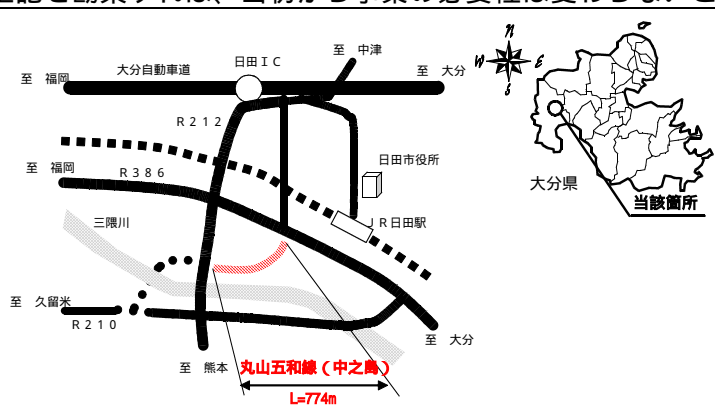


再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：九州地方整備局都市・住宅整備課
担当課長名：角田 陽介

事業名	まるやまごわ なかしま 丸山五和線中の島工区	事業区分	街路	事業主体	大分県	
起終点	自：大分県日田市大字庄手字本庄町 至：大分県日田市大字庄手字村前	延長	0.8 km			
事業概要 ：本路線は、日田市中心部を南北に貫き、国道386号と国道212号を結ぶ幹線道路である。現道沿線は人家が連たんし、幅員も狭小で歩道もなく、自動車・自動車・歩行者が輻輳し、危険な状況であるため、延長774m区間にて両側歩道の2車線道路を整備中である。						
H4年度事業化	S26年度都市計画決定 (H6年度変更)	H4年度用地着手	H6年度工事着手			
全体事業費	39億円	事業進捗率	85%	供用済延長	0 km	
計画交通量	8,300台/日					
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 1.7 (残事業) 14.0	総費用 ：(残事業)/(事業全体) 5.7/48億円 (事業費：5.6/48億円) (維持管理費：0.10/0.10億円)	総便益 ：(残事業)/(事業全体) 80/80億円 走行時間短縮便益：65/65億円 走行費用減少便益：5.2/5.2億円 交通事故減少便益：9.6/9.6億円	基準年 ： 平成17年		
感度分析の結果						
交通量変動 B/C=1.7 (交通量+10%)		B/C=1.5 (交通量-10%)				
事業費変動 B/C=1.6 (事業費+10%)		B/C=1.7 (事業費-10%)				
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> ・都市の再生(中心市街地内で行う事業である) ・現道等における大型車のすれ違い困難区間 						
関係する地方公共団体等の意見						
丸山五和線中の島工区は住民の安全性の確保、交通渋滞緩和に重要な役割を果たすことが期待されており、日田市や地元の区長から構成される五和振興協議会から、毎年早期完成の要望が挙げられている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
サッポロビール新九州工場の完成(H12)により観光客が増加し、交通渋滞はますます深刻化している。						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
平成18年度末事業進捗率は85%を予定しており、用地残物件は3件のみである。現在、一部区間では既に工事着手しており、引き続き工事を推進していく。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
一部地権者との用地補償協議が難航しているため、任意交渉と並行して収用も視野に入れた対応を行い、事業の早期完成を目指す。						
施設の構造や工法の変更等						
再生材(アスファルト等)の利用を促進し、環境に配慮した整備を行っている。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	上記を助案すれば、当初から事業の必要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。